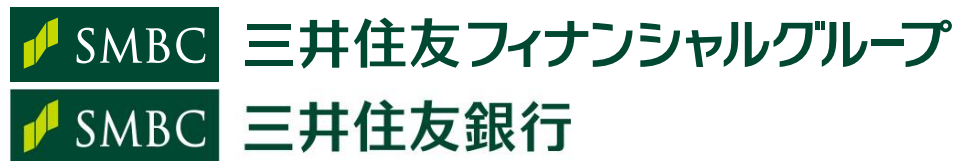


RCBCへの出資について

2022年11月2日



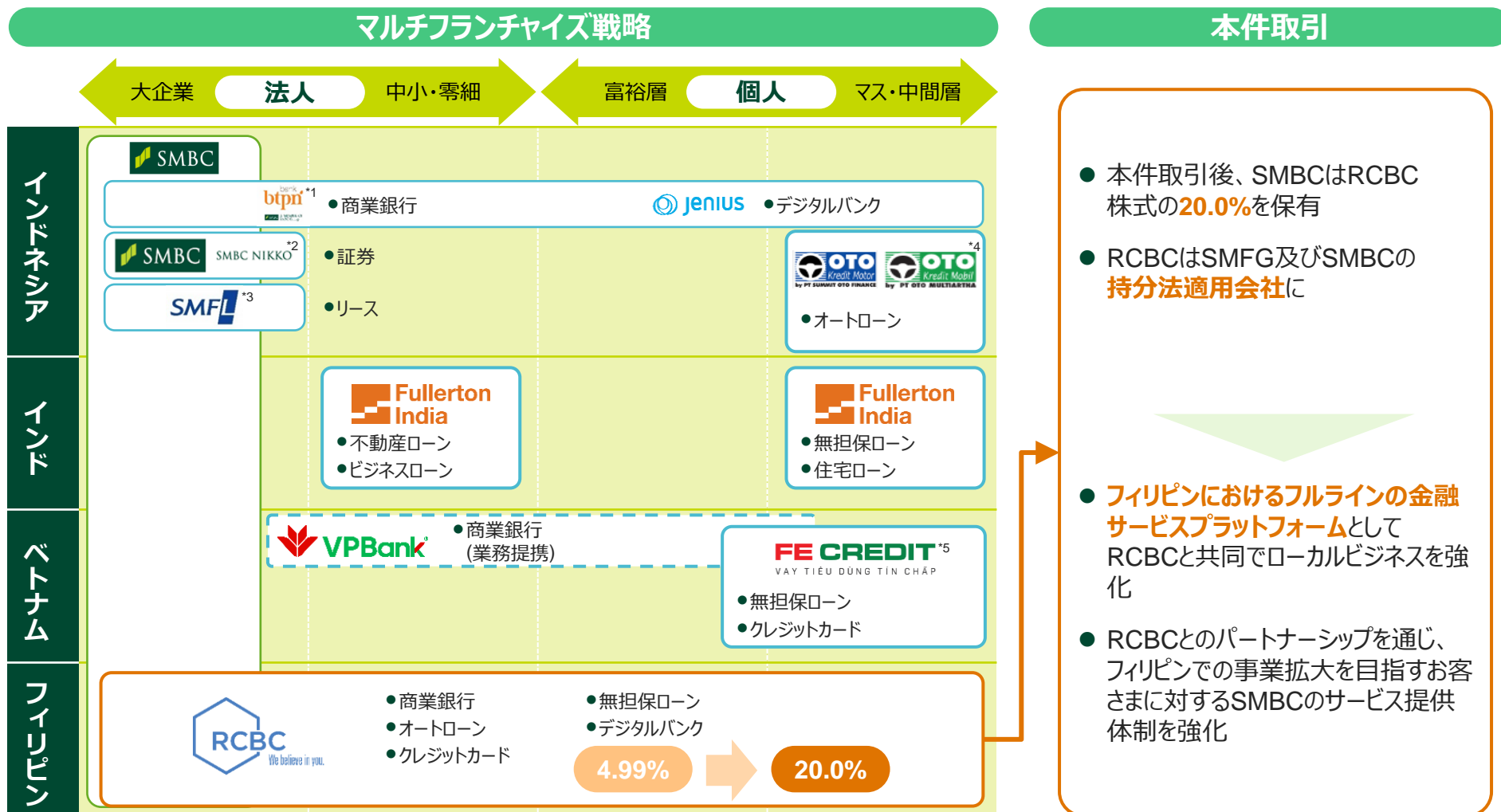
1. 本件取引の概要

基本情報

出資先企業	<ul style="list-style-type: none">フィリピン大手ユニバーサルバンク Rizal Commercial Banking Corporation (以下、RCBC)
取引概要	<ul style="list-style-type: none">SMBCは、2021年6月にRCBCの株式4.99%を取得今回、RCBCの株式15.01%^{*1}を271.26億フィリピンペソ（約461百万米ドル^{*2}）で追加取得予定本件取引後、SMFG及びSMBCはRCBCを持分法適用会社化
財務影響	<ul style="list-style-type: none">投資採算： 出資初年度から投資採算規準を充足見込みCET1比率への影響： ▲7bps 程度の見通し
戦略的意義	<ol style="list-style-type: none">RCBCの財務健全性の強化や成長の加速に貢献フィリピンでの事業拡大を目指すお客さまに対するSMBCのサービス提供体制の強化持分法適用による財務収益の拡大

マルチフランチャイズ戦略 - 本件取引の位置づけ

フィリピンにおけるマルチフランチャイズ戦略の中核となる強固なパートナーシップの確立



*1 PT Bank BTPN Tbk *2 PT Nikko Sekuritas Indonesia *3 PT SMFL Leasing Indonesia
*4 PT Oto Multiartha / PT Sumitomo Oto Finance *5 VPBank Finance Company Limited

2. 戦略的意義

RCBCの財務健全性の強化や、成長の加速に貢献

● RCBCのオーガニック成長

RCBCは長期的な経済成長が期待されるフィリピンで先進的な取組と高い成長ポテンシャルを有する有望な銀行



● SMBCの資本増強サポートとSMBCとの協働シナジーによるRCBCの更なる成長

(1) 資本増強サポート

- 財務健全性の強化と更なる成長余地の拡大
- 現地行トップレベルのCET1比率へと上昇

(2) 協働シナジー

- 顧客基盤の拡大
- 商品及びサービスの強化
- 効率性向上

(3) 中長期的にRCBCをフィリピントップクラスの銀行へ

SMBCグループのマルチフランチャイズ戦略を実現

- RCBCとのパートナーシップを通じて、フィリピンでの事業拡大を目指すお客さまに対するサービス提供体制を強化
- 持分法適用による財務収益の拡大

2. 戦略的意義

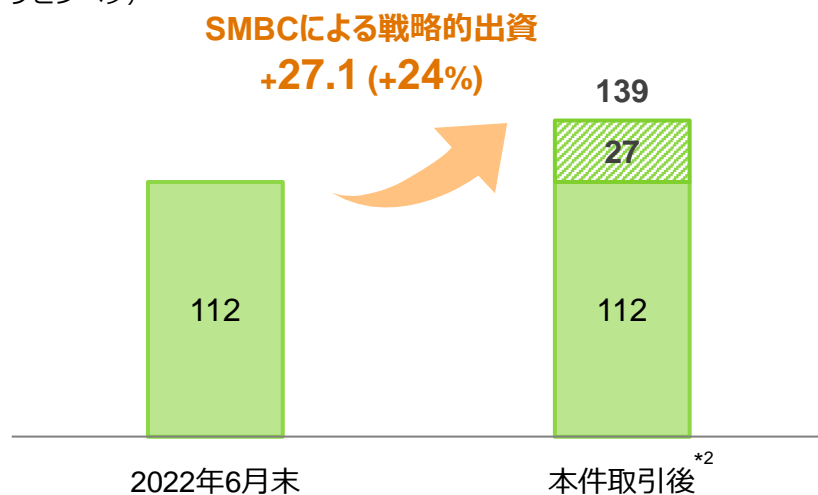
(1) 資本増強サポート

SMBCによる戦略的出資により、RCBCは更なる成長の余地を拡大することが可能に

財務健全性の強化と更なる成長余地の拡大

本件取引後の純資産*1

(十億フィリピンペソ)



本件戦略的出資により、RCBCの以下取組をサポート

- 長期的なリスクアセット成長
- デジタル分野への投資
- 支店網拡大に向けた人材増強

現地行トップレベルのCET1比率

本件取引後のCET1比率*1

Union Bank	20.6%
Metrobank	16.8%
Security Bank	16.7%
RCBC*2 (本件取引後)	16.5%
Bank of the Philippine Islands	15.9%
China Bank	14.8%
Philippine National Bank	14.5%
EastWest Bank	13.6%
BDO Unibank	13.4%
RCBC (2022年6月末)	12.4%

4位*3

2. 戦略的意義 (2) 協働シナジー

戦略的提携関係を活かし、各事業領域をフィリピンでトップレベルのプレゼンスへと成長させる



— 潜在的な協働事業領域 —

顧客基盤の拡大

● 日系顧客のサポート



● ビジネスマッチング



● グループ会社間の協働



商品及びサービスの強化

● プロジェクトファイナンス

- ・再生可能エネルギー
- ・インフラ 等



● サステナブル・ファイナンス

- ・水資源、ヘルスケア 等



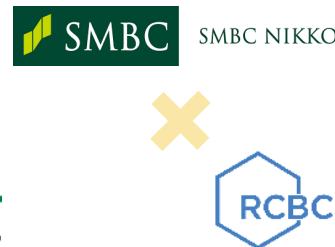
● マス・マーケット向けローン

- ・FE Creditとの協働



● ウェルスマネジメント

- ・SMBC日興証券との協働



効率性向上

● 支店運営の効率化



● デジタル革新の活用



2. 戦略的意義

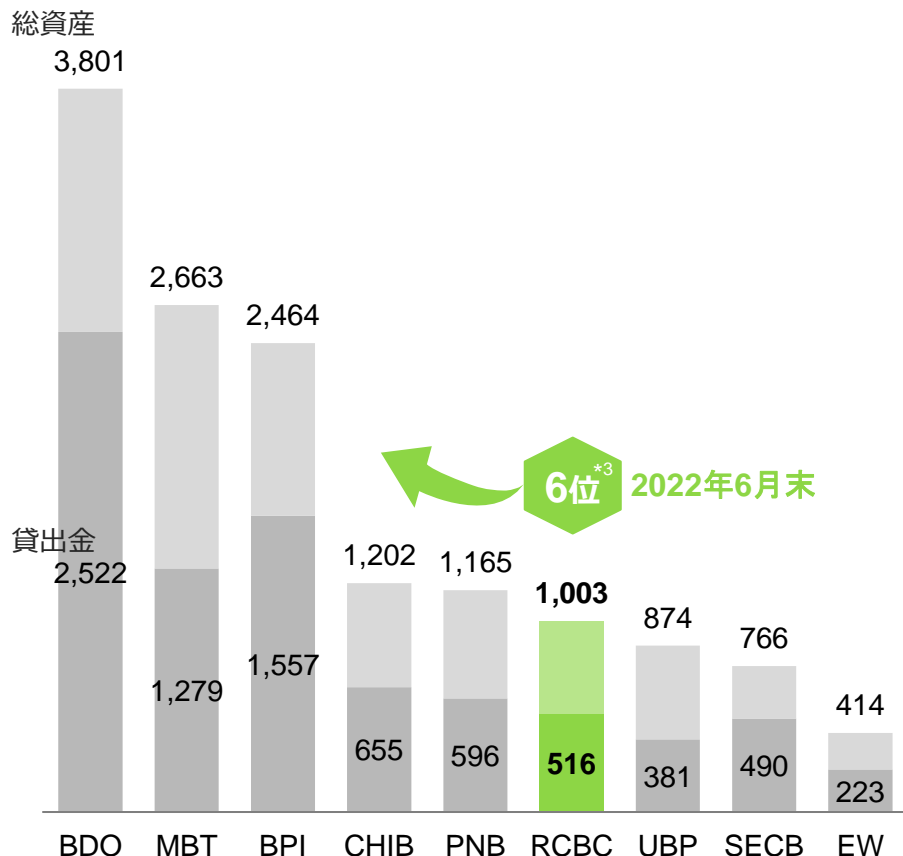
(3) 中長期的にRCBCをフィリピントップクラスの銀行へ

RCBCが中長期的に目指す「フィリピンでトップクラス」の銀行の実現に向け協業を推進

持続的な資産成長の実現

総資産*1/貸出金*1

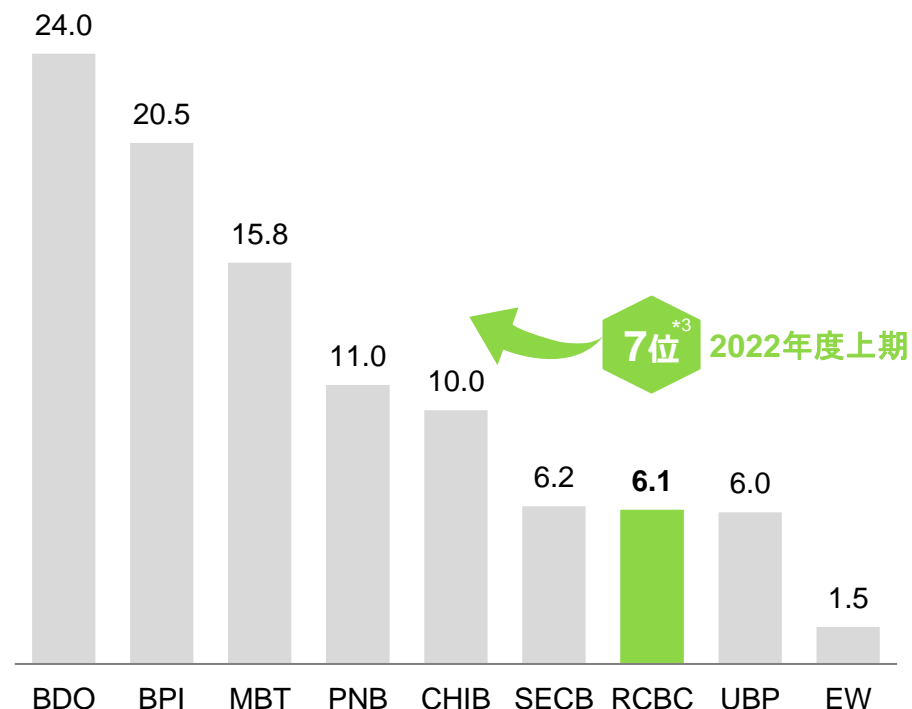
(十億フィリピンペソ)



業績拡大を目指す

当期純利益*2

(十億フィリピンペソ)



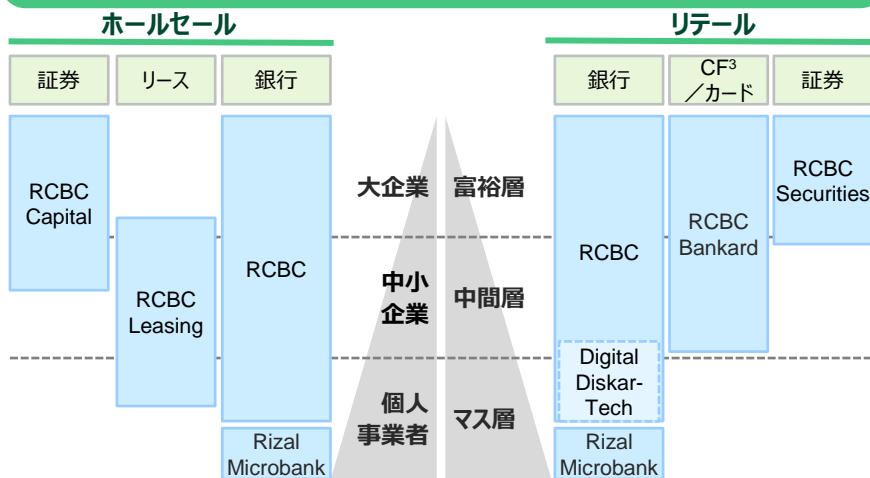
3. RCBCの概要（1）

証券、リース、クレジットカードなどの総合的な金融サービスをグループ全体で提供し、フィリピン国内で卓越したプレゼンスと高いブランド力を有する大手ユニバーサルバンク

会社概要

会社名	Rizal Commercial Banking Corporation
沿革	1960年：設立 1986年：フィリピン証券取引所に上場 1989年：ユニバーサルバンクとしての許認可を取得 2021年：SMBCより出資（株式の4.99%を譲渡）
代表者	Mr. Eugene Sering Acevedo (CEO)
従業員数	約6,000名
拠点	フィリピン全域に440店超の支店と約2,500のATMを展開
ポジショニング	フィリピン国内の民間銀行で総資産第6位*1

事業領域

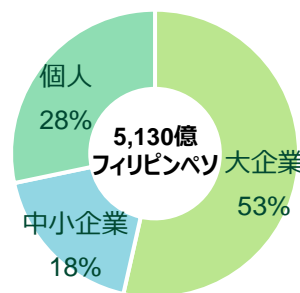


主要財務情報*2

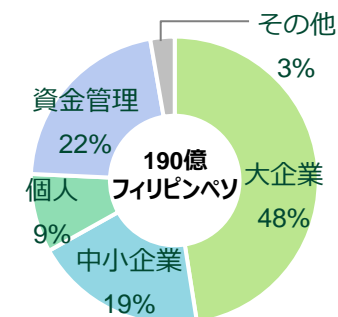
億円	19年度	20年度	21年度	22年度 上期
業務粗利益	893	944	906	529
当期純利益	134	125	176	153
総資産	19,100	19,225	23,882	24,982
貸出金	11,186	12,233	13,404	12,849
預金	11,369	13,341	16,744	18,414
ROE	6.5%	5.5%	6.7%	9.5%
不良債権比率	2.2%	2.9%	3.3%	2.7%
CET1比率	12.9%	12.6%	12.2%	12.4%

事業ポートフォリオ

貸出ポートフォリオ*4



セグメント営業利益*4



*1 2022年6月時点 *2 為替レートはPHP/JPY=2.49を適用 *3 消費者金融（consumer finance）

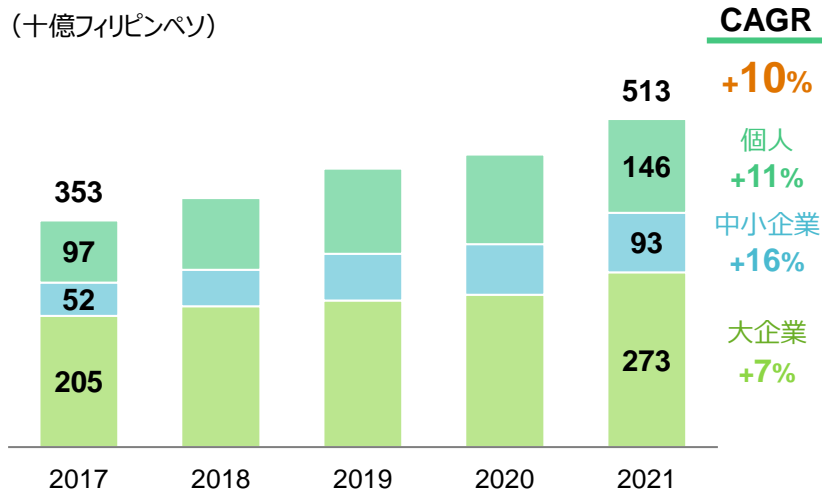
*4 2021年12月時点。数値は四捨五入のため必ずしも合計100%にはならない

3. RCBCの概要（2）

中核事業の力強い拡大をドライバーとして資産規模が持続的に成長

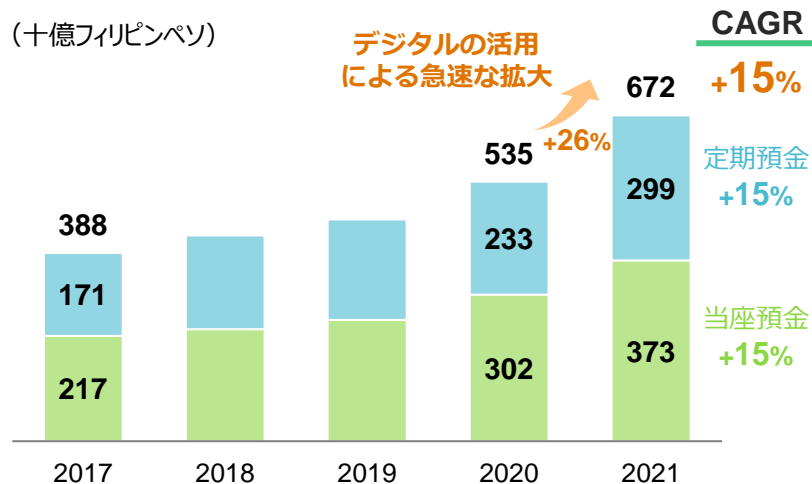
貸出ポートフォリオの拡大

(十億フィリピンペソ)



預金ポートフォリオの拡大

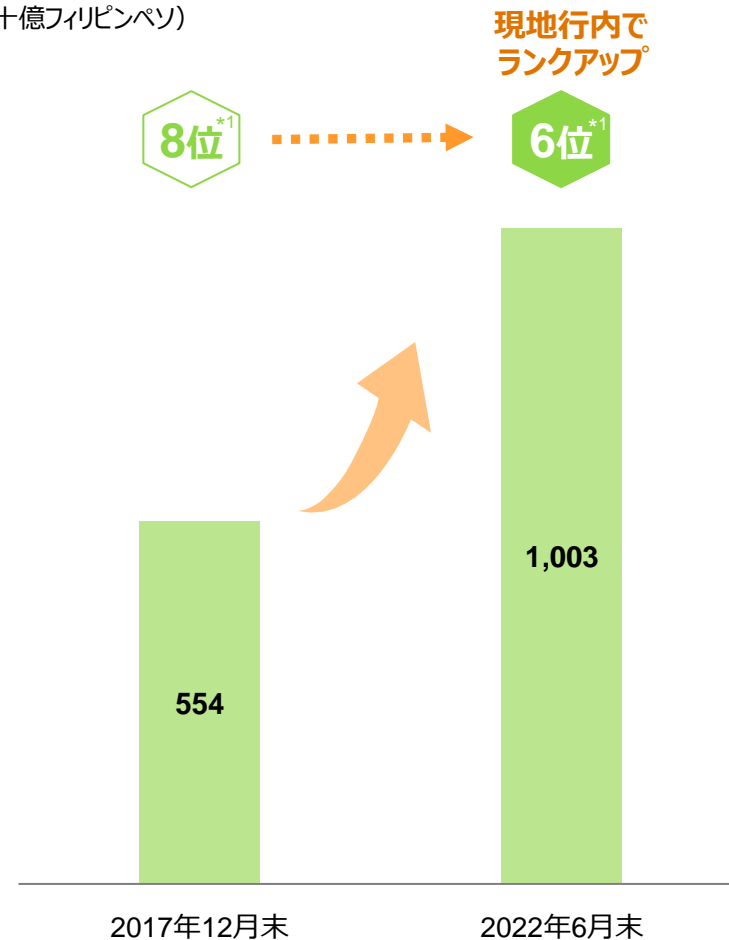
(十億フィリピンペソ)



資産規模が5年強でほぼ倍増

総資産

(十億フィリピンペソ)



*1 国営銀行除く

3. RCBCの概要（3）

RCBCの革新的な取組は、将来の持続的な成長のための重要なドライバー

革新的なデジタルソリューションが顧客獲得と利用者増加を牽引

259%*1
デジタルツールを通じた
新規リテール口座数の増加



32%*1
キャッシュマネジメント
利用顧客からの
低コスト預金の獲得



77%*1
CashCube導入による
取扱高の増加



サステナブル・ファイナンス分野の第一線の取組

グローバル基準のもと、**フィリピンの銀行で初めて**
グリーンボンド、サステナブルボンドを発行



700億
フィリピンペソ*2
サステナブル・ファイナンス
関連ローン総額

60%*2
うち、再生可能エネルギー、
エネルギー効率化関連の割合

計738.9億
フィリピンペソ*2
サステナブル・ファイナンス・
フレームワークからの調達額
(2019年以降)

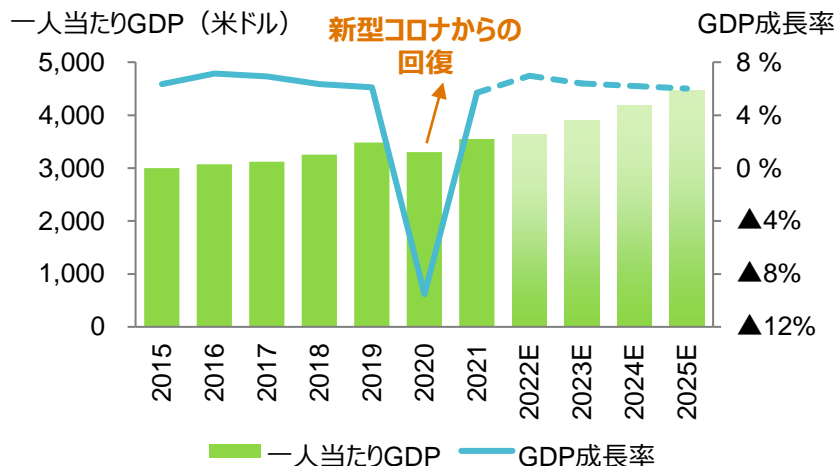
148億
フィリピンペソ*2
ASEANサステナビリティボンド
発行
(2022年2月)

*1 2021年12月時点における前年対比の増加率 *2 2022年6月時点

Appendix : フィリピンの魅力

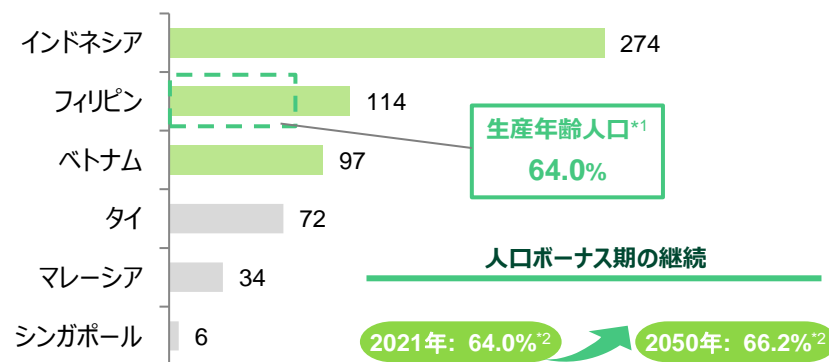
フィリピンは、アジア地域の他の注力国と同様、長期的な経済成長の高いポテンシャルを有する

1. 安定的な経済成長



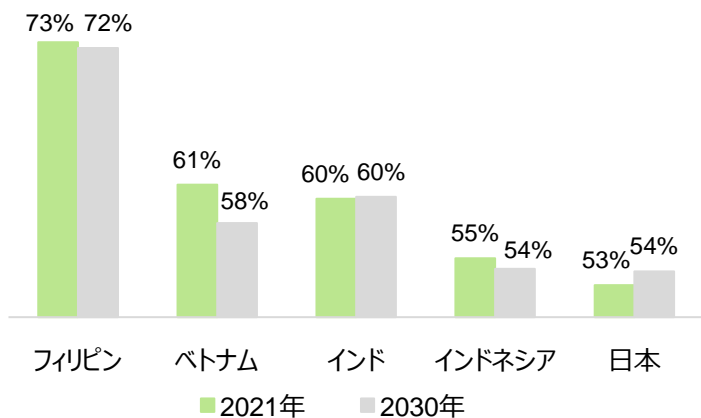
2. 東南アジアで2番目の人口

(百万人、2021年)



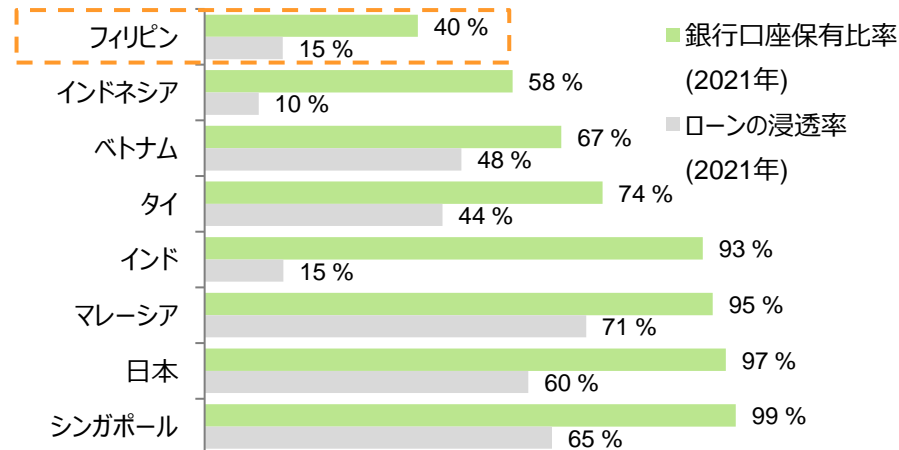
3. 高い個人消費

個人消費 : GDPに占める割合



4. 銀行ビジネスの成長ポテンシャル

銀行口座保有比率とローンの浸透率 (2021年)



出所 : BMI Research、FiinResearch、S&P Global Market Intelligence、Euromonitor、United Nations
*1 15-64歳の人口 *2 総人口に対する生産年齢人口の割合